

■世界銀行のグリーンボンドが支えるプロジェクトの事例

グリーンボンドを通じて調達された資金が支えるプロジェクトの事例をご紹介します（個々のプロジェクトと今回の世銀債の資金は直結しておりませんので、投資家が個々のプロジェクトのリスクを負うことはありません。一方、本世銀債の償還前までに個々のプロジェクトへの新たな資金貸出実行を保証するものではありません。）。

○インド 第四次電力供給システム改善プロジェクト

プロジェクト概要	
目的 インドの送電設備を強化し、温暖化ガスの排出量を削減	
期待される成果 <ul style="list-style-type: none"> 68,000 ギガワットの電力の地域間での優遇 526-933 メガワットの送電損失の低減 107,000 サーキット・キロメートルの送電網の拡充 	
世界銀行貸出額：4 億米ドル	

©Curt Carnemark/World Bank

インドでは電力供給システムが脆弱なため潜在的な成長力が抑制されており、電力が供給されていない居住地区も数多く存在します。世界銀行のプロジェクトにより、送電設備を刷新することで送電ロスを削減し、環境への負荷を軽減することができました。具体的には水力発電の余剰電力を電力が不足する地域に融通することで石炭発電所の乱立を回避することができました。

○インドネシア 水資源と灌漑管理プロジェクト

プロジェクト概要	
目的 政府による水資源と灌漑の管理能力向上	
期待される成果 <ul style="list-style-type: none"> 耐久性と効率性の高い灌漑施設からの水による作物生産量の増加 12の河川流域の50万世帯の農家の作物生産量増加 	
世界銀行貸出額：1 億 5,000 万米ドル	

©Curt Carnemark/World Bank

インドネシアでは大半の農作物は灌漑地域で栽培されているため、水資源と灌漑の効率的な管理は、インドネシアの水と食糧確保において非常に重要です。このプロジェクトは、政府による水資源と灌漑の管理能力の向上により、農家の作物生産量の増加が期待されています。

○モロッコ ごみ処理開発政策融資プログラム

プロジェクト概要	
<p>目的 政府の廃棄物処理セクターの管理体制の強化</p>	
<p>期待される成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 11 の地方自治体における廃棄物管理プログラム実施などの制度改革 ● 衛生埋立処分場で処分される廃棄物の割合の増加（10%から 30%）と 21 か所のゴミ捨て場の閉鎖又は改善 ● 年間 73 万 5,000 トンの Co2 排出量の削減 	
<p>世界銀行貸出額:1 億 3,270 万米ドル</p>	
©Curt Carnemark/World Bank	

モロッコ政府によるごみ処理セクターの明確な組織化及び政策策定や規制化、運営体制における重複やギャップを解消し、規制や制度を見直して、ごみ処理セクター改革を支援するものです。また、ごみ処理プログラムに対する財政や環境、社会の持続性向上を目指します。

<世界銀行について>

世界銀行（国際復興開発銀行、通称 IBRD : International Bank for Reconstruction and Development）は 1944 年に設立が合意された国際開発金融機関で、現在 189 の加盟国が出資し運営しています。加盟国の公平で持続可能な経済成長を目指し、地域及び世界規模の経済や環境問題に効果的に対処していくために、世界銀行は中所得国に対し貸出・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。世界銀行の目標は、世界の極度の貧困を終結し、すべての人々が共に豊かに暮らせるよう繁栄を共有させることです。世界銀行は貸出資金を調達するために、60 年以上にわたり、国際資本市場で債券（世銀債）を発行しています。

世界銀行は、1971 年に初めてサムライ債（円建て外債）を発行して以来、日本の投資家の多様なニーズに対応するため、国内外貨建て債・大名債・グローバル円債・グリーンボンドといった新型債券を開発し、途上国向け融資資金を日本の投資家から調達しつつ、日本の資本市場の発展にも寄与しております。

以上